

【ワクチンの副作用救済(障害・死亡)認定頻度の比較】

令和2年7月現在

1 HPV ワクチンの障害・死亡認定状況 *1

HPV ワクチン	合計	45 人	100 万人あたり	13.08 人	実施人員(企業推定)合計 3,440,000 人
	(障害 45 人・死亡 0 人)				

※の15・7倍

○ うち、定期接種 112,880 人からは 3 人障害認定・100 万人あたり **26.58 人**

※の31・8倍

2 主な定期接種ワクチンの障害・死亡認定状況(平成 17~29 年) *1 *2 *3

ポリオ	合計	33	100 万人あたり	3.25 人	期間実施人員合計 10,144,360 人
	(障害 32 人・死亡 1 人)				
DPT・DT	合計	20	100 万人あたり	0.95 人	期間実施人員合計 21,036,254 人
	(障害 16 人・死亡 4 人)				
DPT-IPV	合計	1.33 人	100 万人あたり	0.24 人	期間実施人員合計 5,462,642 人
	(障害 1 人・死亡 0.33 人)				
日本脳炎	合計	28	100 万人あたり	1.53 人	期間実施人員合計 18,319,073 人
	(障害 22 人・死亡 6 人)				
麻しん・風しん (MR)	合計	20.75 人	100 万人あたり	0.57 人	期間実施人員合計 36,186,316 人
	(障害 17.75 人・死亡 3 人)				
結核 (BCG)	合計	3.5	100 万人あたり	0.27 人	期間実施人員合計 12,923,543 人
	(障害 2.5 人・死亡 1 人)				
肺炎球菌(小児) (PCV)	合計	0.83 人	100 万人あたり	0.16 人	期間実施人員合計 5,243,362 人
	(障害 0.5 人・死亡 0.33 人)				
Hib	合計	0.83 人	100 万人あたり	0.16 人	期間実施人員合計 5,218,065 人
	(障害 0.5 人・死亡 0.33 人)				
水痘	合計	1.75 人	100 万人あたり	0.38 人	期間実施人員合計 4,598,048 人
	(障害 0.75 人・死亡 1 人)				

各頻度の平均 **0.84 人** ※

*1 各救済認定の内容は、緊急促進事業(定期接種化以前)は PMDA (<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0036.html>)・定期接種は厚労省(疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会)

(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-shippei_127696.html)の各ホームページで公開。

各実施人員は、定期接種は厚労省ホームページ(<https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html>)での公表人数から接種スケジュールを加味して加算。HPV ワクチンは令和2年7月17日の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会・薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(合同開催・持ち回り審議)資料(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12463.html)での企業報告の推定接種者数(サーバリックス 260 万人・ガーダシル 84 万人)の合計。

*2 上記予防接種審査分科会では、平成 17 年度から(正確には 16 年度の途中から)具体的決定内容が公開・現時点で実施人員数が公開されている平成 29 年度までの定期接種ワクチンの救済認定状況とその平均を算出。

*3 複数ワクチン同時接種の認定例については、各ワクチンに人数を按分(例えば 2 剤同時接種例は 0.5 人ずつ)。